

とくとく



をかけるのは
 珍しいでしょ
 う。今年も凍
 てつくような
 寒空の中、若
 者は多くの水
 をかぶったが、
 その分多くの
 家々に恵みが
 もたらされる
 ことでしょう。

桂川町土師地区では、今年も小正月を迎える前日の1月14日の夜に、戦前から続く「とへとへ」と呼ばれる伝統的な行事が行われました。「とへとへ」とは「家に恵みを与える」という意味で、家内安全・無病息災・五穀豊穡を神に祈願するものと言われています。来訪神を迎える行事は全国に数あれど、神様に水をかけるのは珍しいでしょう。今年も凍てつくような寒空の中、若者は多くの水をかぶったが、その分多くの家々に恵みがもたらされることでしょう。

「とへとへ」という来訪神夜よの帳に包まれ出し、気温も下がってきた夕方。笠や蓑を被り、来訪神に扮した若者たちが「とへとへ」と言いながら、家々を訪ね歩き始めます。来訪された人たちは、豪快に水をぶっかける！水がかけられた若者たちは元氣よく「今年もよい年でありますように！」と礼を返し、再び「とへとへ」と言いながら次の家に向かいます。